

【さぬき市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申等の内容を踏まえ、児童生徒の1人1台端末を最大限活用しながら、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を実現していくために、デジタル教科書やAIドリル等の活用拡大を図り、児童生徒が日常的に1人1台端末を文房具として使用していく環境を推進していく。

また、「第3次さぬき市教育振興基本計画」の主要施策の1つに「質の高い学校教育を支える環境の整備と充実」を規定し、その具体的な推進策として「ICTを活用した学校教育の情報化の推進」と掲げており、1人1台端末をはじめとするICT機器を効果的に利活用し、個々の理解度や学習ペースに合わせた教育を推進する。

2. GIGA第1期の総括

コロナ禍においても学びを保障するため、令和2年度に1人1台端末及び通信ネットワーク基盤の整備を実施し、令和4年度に情報通信技術支援員の配置、令和5年度には各小中学校の普通教室に電子黒板を整備した。

しかしながら、1人1台端末をはじめとしたICT機器の活用状況は、学校間及び教員間で活用頻度に差が生じているため、情報通信技術支援員の増員などを行い、活用サポート体制や研修機会の充実によるICT活用の底上げが課題となっている。

3. 1人1台端末の利活用方策

【1人1台端末の積極的利活用】

ICT技術に関して専門的な知見を有する情報通信技術支援員や各コンテンツ事業者による端末活用のサポートや研修を充実させて、児童生徒が積極的に1人1台端末を活用した個別学習及び協働学習ができる環境づくりを推進する。

【個別最適・協働的な学びの充実】

デジタル教科書やAIドリル等のデジタル教材の活用拡大を図り、学校のみでなく、持ち帰りによる家庭学習においても活用することにより、児童生徒が自身の特性や理解度、進度に合った課題に取り組める学習環境の整備を目指す。

【学びの保障】

ICT の持つ特性を最大限活用して、様々な理由により登校が難しい児童生徒や、障害等により特別な配慮や支援が必要な児童生徒に対するきめ細やかな対応を行い「全ての子どもたちの可能性を引き出す」ことを目指す。

以上のことを実現していくためにも、児童生徒向け端末を計画的に更新し、1人1台端末環境を引き続き維持することが重要である。